

第 25 回日本学生オリエンテーリング連盟総会 議事録

日本学生オリエンテーリング連盟 広報部

平成9年3月10日 会場:大和屋 9:30 ~ 12:10

書記 松浦(副幹事長)

< 出席加盟校 >

岩手、東北、北海道、宮城学院女子、金沢、信州、富山、新潟、お茶の水女子、学習院、慶應義塾、筑波、東京、東京工業、東京女子、横浜国立、静岡、椋山女学園、名古屋、大阪、大阪市立、関西、京都、京都女子、京都橘女子、神戸、奈良女子、立命館、広島、以上 29 校

< 出席準加盟校 >

国際基督教、相模女子、東京農業、広島女子 以上 4 校

< 委任状提出加盟校 >

武蔵、法政、山口、図書館情報、実践女子、東京農工

加盟校 45 校中 29 校の出席により成立

1. 議長選出

立候補 平石大介(慶応2) 27/29 - > 承認

[これにより慶応大学は議決権を失う]

2. 会計報告

2) 平成8年度会計報告(与儀・会計)

前回の総会以降の大きな収入支出について

収入

- ・ 加盟金追加登録分あり。これにより本年度の全加盟金は 4,092,600 円で予算より 130 万円減
- ・ 日光インカレの収益の一部 868,492 円
- ・ 日本学連セミナーによる収益 7,755 円支出
- ・ 広報部に 200,000 円
- ・ 事務局維持費に 700,000 円

そのほかの会計状況に関してはおおむね順調。

3) 第 18 回インカレ会計報告(土方・副実行委員長)

収入 46,557,860 円 - 支出 42,683,416 円

余剰金 3,874,444 円

3. 平成9年度日本学連広報部長の選出

立候補 頼城祐介(新潟3)

- ・ 電子メール等を活用して効率よくよいいびきを作って行きたい。

日本学生オリエンテーリング連盟

早稲田大学と日本女子大学が到着し出席校は 31 校、議決権のある学校は 30 校に。
信任 28 無効2 - > 信任

4. 平成9年度会計監査の選出

上坂直子(静岡2) 30/30 - > 承認

藤沢千尋(学習院2) 29/30 - > 承認

5. 活動報告書作成委員長の選出

日渡友信(筑波2) 29/30 - > 承認

6. 平成9年度地区代表幹事の選出

北東学連 高橋 護(東北2) 30/30 - > 承認

北信越学連 八十島 優(富山2) 30/30 - > 承認

関東学連 中村 知晴(東京2)

Q. 学連内でもっと大きなウエイトを占める関東学連だが、日本学連にどのように貢献して行こうと考えているか(大滝・幹事長)

A. 加盟員、加盟校の数に恵まれているので人材的、金銭的に貢献して行きたい。30/30 - > 承認

東海学連 木村 耕平(静岡2)

Q. 加盟員の数が減っているがどうしていくのか(大滝)

A. 各校の新勤活動にかかっているのでわからない 29/30 - > 承認

関西学連 寺岡 孝(大阪2) 29/30 - > 承認

中九四学連 辻本 秀和(山口2) 30/30 - > 承認

7. 平成9年度予算案について(与儀)

主な収入

- ・ 加盟員数の減少傾向に伴い加盟金収入減少
- ・ 事業収入に関しては未定
- ・ 賛助金は現状維持程度

主な支出

- ・ IC 貸付金は例年どおり
- ・ ICS 貸付金に関しては未定だがとりあえず60万円計上
- ・ 広報部はいぶき印刷を外注にするために増額
- ・ 事務局維持費例年どおり
- ・ 幹事活動費は幹事会等の関東での開催が多いため減額
- ・ 技術委員会現状維持
- ・ 新たに活動報告書作成委員会に予算計上

日本学生オリエンテーリング連盟

- ・ユニバーシード、学連合宿は現状維持
- ・地区学連補助金微減
- ・事務局費局員の交通費等の増加のため増額
財政規模 収入 2100 万円 支出 2100 万円
- ・「保険」とは学連や加盟校がテレイン等において地権者等との間に問題を起こしたときなどの場合のための損害賠償保険のことである。
28/30 - > 承認

2. 会計報告(つづき)

1. 平成7年度決算報告(清水・平成7年度会計)

収入

- ・加盟員数の減少により加盟金収入が減少した。

支出

- ・事務局費が余計にかかったことは事務局員がきちんと働いたために交通費等がかかったから。
- ・理事にかかった費用うち、幹事会への出席などは幹事活動費に編入されている 29/30 - > 承認

8. 各種委員会活動報告

1. 技術委員会(佐藤・委員長)

- ・今年度は学連合宿を数回開いた。次年度も開催の予定。
- ・参加人数が予想以上に多いためやり方を考えている。
- ・秋以降に開催予定
- ・再来年度にユニバーシードがあるのでそれを意識したい。
- ・新技術委員長に田代雅之氏(横浜国大卒)を推薦。
- ・19回インカレにコントローラーとして落合公也氏を派遣。

9. インカレ実行委員会活動報告

1) 第19回(奈良)インカレ実行委員会(山川・理事)

- ・新規則の下での初の開催であったが競技的には問題なく終了。
- ・運営人数を絞り込んだため速報処理などに問題が生じたがなんとか回復。

2) 第20回(常磐)インカレ実行委員会(松澤・実行委員長)

- ・要項1準備中。
- ・3月15、16日に第1回幹部会開催予定。
- ・日程が平成10年3月6(金)～8日(日)に正式決定。
- ・推奨トレーニングテレインを設けることを検討し、現在関係団体である筑波大学と交渉中。

日本学生オリエンテーリング連盟

3) 第21回(山口)インカレ実行委員会(山川・理事)

- ・ 今月末より地図調査開始。
- ・ 事務局を関東におく予定。

4) 第5回(静岡)インカレショート実行委員会(山川・理事)

- ・ 要項1発行
- ・ 前回同様電子メール、テキストファイルによるエントリーを検討中。学生にも協力していただきたい。
- ・ 役員募集中
- ・ 地図調査は順調。

インカレショートの日程について

京都大学、京都女子大学より「次回インカレショートの日程についての反対意見書」が提出された。

要旨

インカレショートの財政上の問題は、参加費を上げる、学連加盟費を上げるなど、学生に公平な負担を求める事により解決されるべきであり、一部の土曜日に授業のある大学に犠牲になっていただくことにより解決されるべきではない。

・ 今回は土曜日と言っても飛び石連休の中日であり、運営者への負担も考えてこの日にしました。講義のある方は公休届などをだすして対処していただきたい。(大滝)

Q. 土曜日に開催されるというのは今回だけのことなのか。それとも今後とも有り得ることなのか(中村・新関東地区代表幹事)

A. 今のところ次年度以降に関しては考えていないが飛び石連休などがあれば考えられるであろう。(大滝)

Q. 土曜開催の場合、移動のために金曜日の講義に支障が出るのではないかと。(高橋・京都女子)

A. 土曜開催の場合は基本的には金曜日が休日の場合以外は今のところ考えられない。(大滝)

・ インカレショートを継続して開催して行くためには学生側にも何らかの形で犠牲を払ってもらわなくてはならないであろう。他のスポーツのインカレなどは平日に行われていることを考えてみても飛び石連休の中日の土曜日であればしょうがないのではないかと。(松浦・副幹事長)

・ オリエンテーリングが他のスポーツほどのコンセンサスを得られていないのは確かであり、何でも他のスポーツと同じという訳には行かないのは確かであるがどうか理解してもらいたい。(佐藤・技術委員長)

10. 理事会活動報告(土方・理事)

- ・ 19回インカレシード選手選出
- ・ 年数回の理事会開催
- ・ 幹事会出席

1) 新委員会設立について

日本学生オリエンテーリング連盟

理事会改革の一環として、広江理事を委員長とする新委員会を設立させました。新委員には理事候補生として1～2年勉強してもらい将来的には理事の若返りを図りたい。

名称:未定

委員長:広江淳良(理事)

委員:木俣順(名古屋大学卒)

 :大滝民己(東京大学4年)

:松浦泰宏(東北大学4年)

新委員会の設立について 29/30 - > 承認

11. 新理事、新参与の承認(土方)

本年3月の理事の任期満了に伴い理事会と幹事会より以下の内容が提案された。

- ・ 山岸倫也、筆谷敏正、小山宏之、松久覚、天野仁、鈴木康史の6名の理事が退任。
- ・ 上田泰正、木村佳司、土方隆、広江淳良、山川克則の5名の理事が留任し、新たに佐藤信彦(東京大学卒・技術委員長)を理事に加える。
- ・ 山岸倫也、筆谷敏正の両氏を参与に推薦。
- ・ これらに伴い地区担当理事は廃止した。

Q. 理事を大幅に減らした理由は(後藤・事務局長)

A. 退任の理由は松久理事は地元イベントに専念。小山理事は21回インカレに専念。その他の理事は一身上の都合等である。理事の仕事が減らし、人数を減らして理事会のスリム化を図る目的である。

参与 山岸倫也 筆谷敏正 30/30 - > 承認

理事 上田泰正 木村佳司 土方隆 広江淳良 山川克則 佐藤信彦 30/30 - > 承認

佐藤技術委員長の理事就任に伴う新技术委員長の承認。

技術委員会より田代雅之氏(横国大卒)が推薦される。 30/30 - > 承認

12. インカレテレインコントロールについて(山川)

19回(奈良)インカレ関係

- ・ 全テレインオープン

5回(静岡)ショート関係

- ・ 天子ヶ岳の川より東の全区域を含む地域を立入禁止に、詳しくは発行済みの要項1を参照。

13. インカレビジョンについて(山川)

2年に1度の関東での開催を軸に考えている。これに伴い22回を日光地区で、愛知県での開催を23回にというビジョンがあり、関係各者からの内諾も得ている。JOAのビッグイベントと学連のイベントが重なるのを回避し運営者の負担を軽減するメリットもある。

次回の関西地区でのインカレまでの間に関西地区でICS開催のビジョンがある。

日本学生オリエンテーリング連盟

14. 幹事会活動報告(大滝)

- 1) 日本学連後援行事の報告 新潟大学 5/18 (11/13 申請)
- 2) 日本学連より関西学連に対し第 19 回インカレ使用マップ 2400 枚を印刷原価の 6 万円にて売却。
- 3) 「蓬莱 3」の著作権を契約どおり日本学連より京都大学に戻した。
- 4) 学連の契約業者に関する問題で理事長並びに担当理事に対して謝罪文を幹事長名で提出。

15. 各部局活動報告

1) 事業部(岡見・事業部長)

- ・ 現在講習会開催中
- ・ セミナー報告書作成中。3 月中に完成予定。1 部 100 円で販売予定。
- ・ インカレ学生役員募集の通知が遅れた。

2) 広報部(塩谷・広報部長)

- ・ いぶき第 5 号まで発行(4、5 号が予定より遅れた)
- ・ 学内の印刷機を使ったため安くできた。
- ・ 第 3 号より後援行事 PR コーナーを設けた。
- ・ 賛助会員の増加により発行部数も増加
- ・ 4 月 15 日に第 6 号発行予定(3 月 31 日原稿締め切り)
- ・ 会計状況順調

3) 事務局(後藤・事務局長)

- ・ インカレエントリー業務を行った
- ・ 97 年度賛助会員登録を開始した
- ・ 4 月 14 日より次年度に引き継ぎ、通常開局の予定。
- ・ 交通費郵送費の増額により 10 万円の補正予算を組んだ。

立教大学が到着し出席校は 32 校、議決権のある学校は 31 校に。

16. 地区学連活動報告

北東学連(泉川・北東地区代表幹事)

- ・ 3/6 ~ 7 インカレ前合宿
- ・ 3/6 第 4 回総会

北信越学連(頼城・北信越地区代表幹事)

関東学連(渡辺・関東地区代表幹事)

- ・ 12/8 関東インカレ個人戦兼インカレセクションレース
- ・ 2/9 関東インカレ団体戦
- ・ 2/15 総会

東海学連(小田・東海地区代表幹事)

- ・ 12/22 インカレセクション
- ・ 12/22 ~ 23 冬合宿 # 12/22 のセクションレースで、ある選手の CC が破損することに起因し

日本学生オリエンテーリング連盟

た問題だ生じた。今後CCの改善及びセクションレースにおける第三者の裁定委員の派遣などを考えて行きたい。

関西学連(山下・関西地区代表幹事)

・ 19回インカレマップを日本学連より購入

中九四学連(村中・中九四地区代表幹事)

・ 12/8 中九四インカレ兼インカレセクションレース

・ 3/5～6 インカレ前合宿

17. 今後の日程について(与儀)

・ 4月上旬に会計担当者会計業務ガイダンスを開催し円滑な引き継ぎを目指す。会場等は未定、場合によっては書類の発送にかえる。

・ 26回総会日程を11/1(土)又は11/8(土)かで迷っている。その他の日程も考慮に入れながら明日の総会で加盟校の意見を聞いてみたい。

Q. 土曜日でも昼からやるのか夕方からやるのかによって出席できるかわるがそのへんはどう考えているのか。(手嶋・広島)

A. 通常は宿泊を伴わないように昼(午後)からおこなう。大きい大会の前日などは大会に出るついでに総会に出席もできるので大きい大会等を利用したい。

以下の中から出席できる日程を加盟校各校に選んでもらいその結果を参考にして日程を決めたい。

11/1 菅平大会初日(菅平)

11/8 全日本リレーの前日(静岡)

11/8 全日本リレーの前日(都内)

10/10 インカレショート前日(静岡)

10/25 筑波大大会前日(都内)

10/18 東日本大会前日(都内)